

観光産業都市を目指して

岡崎の夏を彩る一大イベントの花火大会と家康公夏まつり。特に家康公夏まつりは、4月に発足した岡崎活性化本部が初めて主体となつて進めた事業です。民間の知恵や経験を活かした視点で、多くのかたに楽しんでいただけたと思います。私も開催初日に乙川河川敷で行われた力又一試乗に参加しま

市長室より

Next!
岡崎
次の新しい おかざき



岡崎市長
内田 康宏

した。川面から眺める風景は時を越え、この素晴らしい故郷岡崎ふるさとを多くのかたに見てもらいたいと改めて思いました。観光客だけでなく市民の皆さんにも本市の魅力を再認識、再発見いただくため、現在12種類のミニ観光ガイドマップを作成しています。来年3月までに順次発行していきますので、是非手に取って散策してみてください。

観光は、国においても成長戦略の一つに位置付けられています。海外からの観光客誘致には本市単独ではなく、近隣自治体との連携が欠かせません。そこで7月に岡崎市と蒲郡市で「岡崎・蒲郡インバウンド推進協議会」を設立しました。これは各地域の強みを活かしながら協力して観光情報を発信するものです。四季を通して観光に来ていただける魅力ある観光産業都市を目指していきます。